



# 向陵広場

発行号 第23号  
 発行日 平成29年12月14日(木)  
 発行元 向陵編集校友会  
 責任者 伊藤有司 (県10回卒)

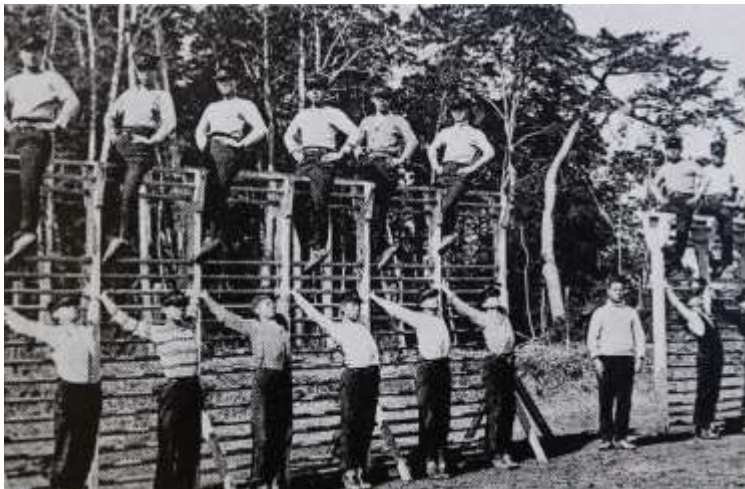
## 豊商同窓会二代会長 鈴木 豊三郎 (市商1回卒) 昭和3年3月卒



鈴木豊三郎 氏

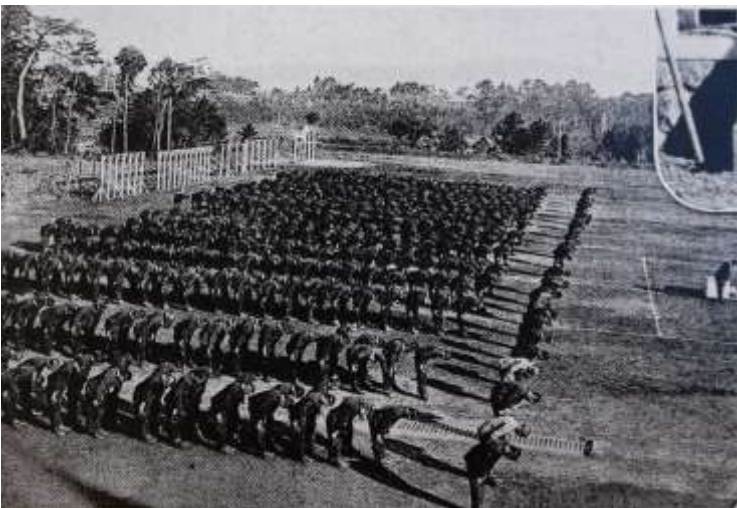
鈴木豊三郎氏は明治43年5月10日松葉町で生まれた。父は戦前の上伝馬町にあった芝居小屋弥生座の太夫元で興行師、役者でもあった。母も上伝馬の杉田屋という料理屋の女将。五人兄弟の三男坊であった。松葉町という水商売の空気をいっぱい吸って育ち両親の血もしっかり受け継ぎ青春時代は硬軟両刀、浮名も可成りあったとか。社内の飲み会でよく「メダカの学校」や「鴨緑江節」等を踊った。それは垢抜けしたものだった。

やはり役者の血筋か、写真を見直して!そして29歳で旭町さつき湯の看板娘きんさんと結婚、居を花田齊藤に移したが訪問者は一様に夫人の立ち居振るまいをすこぶるつきで噂しあった。豊さんはここを終の住み処とした。趣味はと聞いたら即座に野球・俳句と返ってきた。松葉小学校では野球部員15名のキャプテンでピッチャー。会社では鉄壁の名ファースト(ピッチャーは早田)議会ではキャプテンでピッチャー。昭和32年頃の議員県大会では6回生の石川義典氏(故人)とバッテリーを組み優勝戦まで勝ち進んだこともあった。豊さんは昭和63年1月10日逝去された。



体操風景

市商 昭和3~4年(第1回 鈴木豊三郎氏 提供)



全校生徒の朝礼(1~5年)

市商 昭和3~4年(第1回 鈴木豊三郎氏 提供)

当時の新聞は、鈴木豊三郎氏は昭和32年市議に。以後7期28年、その間副議長等要職にも就任。論旨は鋭く、緩急自在な議会質問など良識を発揮、健全野党の立場で活躍された。また昭和27年から昭和60年までは人権擁護委員としても活躍された。これが認められ後年次の数々の賞を受け、人情味豊かな立派な人であった。

- 昭和44年 藍綬褒章(人権擁護功労)受章
- ” 50 ” 藍綬褒章(地方自治功労)受章
- ” 50 ” 市功労者表彰受章
- ” 52 ” 県功労者表彰(地方自治・人権擁護功労)受章
- ” 56 ” 勲4等瑞宝章受章

座右の銘「鶏口となるとも牛後となるなかれ」  
 主義主張「濁を排して清きを愛す」

3回生高橋多聞氏(故人)は「市商同窓会は昭和8年に豊さんが会長、私が副で設立した。去る80周年式典には病をおして出席、立派に挨拶もされたので、これで大丈夫と期待していたのに。立派な先輩を失って残念。」と豊さんを偲ぶ記事もあった。



(豊商の群像Ⅱより抜粋)

珠算競技大会(昭和3~4年 野口武文氏 提供)